

2026 年度

四国防災・危機管理プログラム



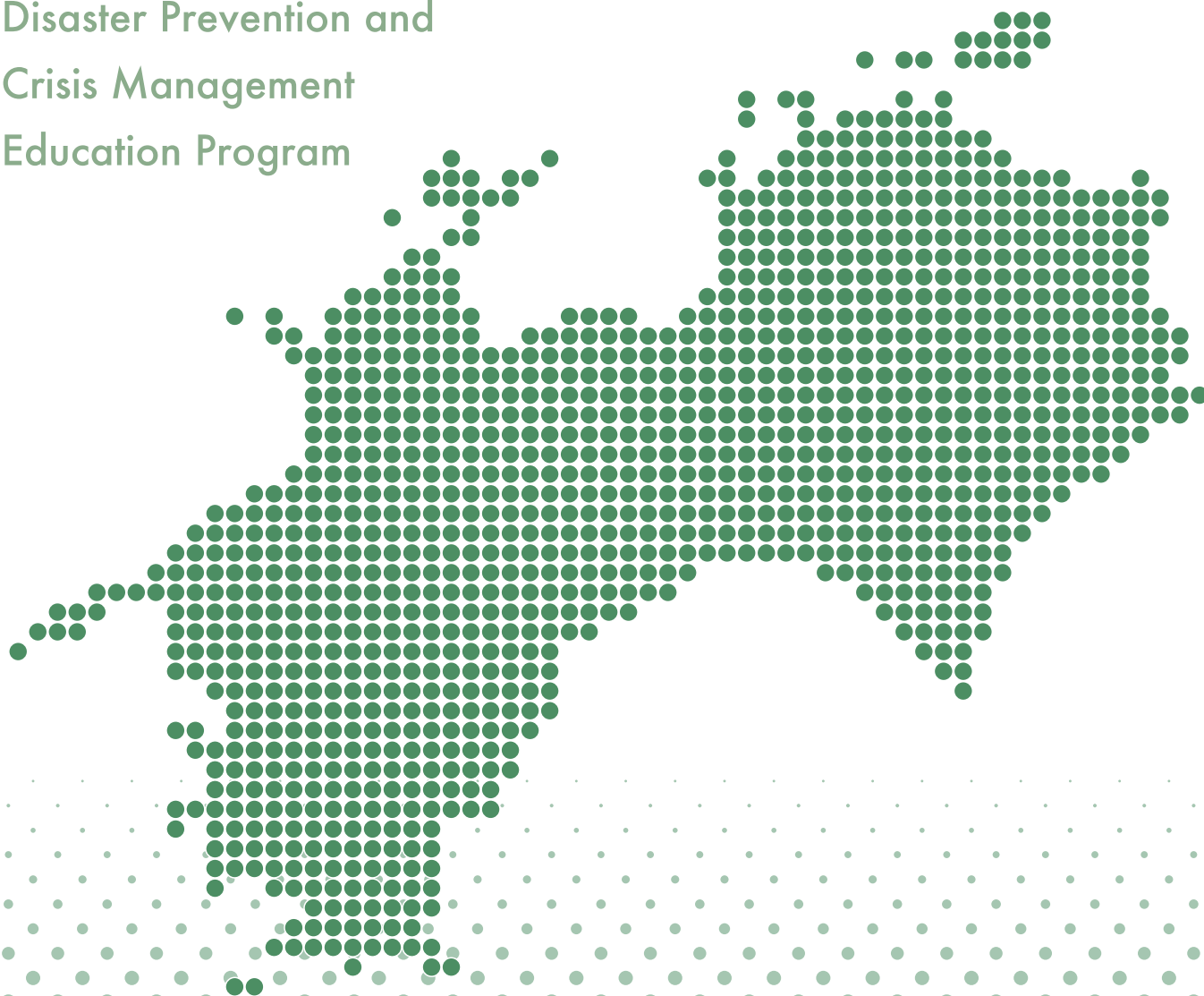
Brush up Program
for professional

履修の手引き



SHIKOKU

Disaster Prevention and
Crisis Management
Education Program



目 次

四国防災・危機管理プログラム 概要

1. プログラムの概要	1
(1) 目標	1
(2) 特徴	1
(3) 開設コース	1
2. 開設授業科目	2
(1) 授業科目	2
(2) 時間割	3
(3) 履修形態	3
3. 修了要件	4
(1) 修了要件	4
(2) 単位認定及び学業成績	4
(3) 修了認定	4
4. 給付金制度について	5
5. 連携大学の所在地と問合せ先	5

四国防災・危機管理プログラム授業科目 シラバス

共同実施基礎科目	6
行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群	10
行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群	12
実務演習科目	14



表紙のBPのロゴは、学び直したいと考える社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定した証です。詳しくは、文部科学省のHP https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/ をご覧ください。

四国防災・危機管理プログラム プログラム 概要

1. プログラムの概要

(1) 目標

本プログラムは、近い将来高い確率で発生が懸念される南海トラフ地震や、近年各地で多発している地震・水害等の広域災害、グローバル化する危機に対し、迅速な状況把握に基づく適切な判断・意思決定を行い、減災・復旧・復興対応や組織・地域再生においてリーダーシップを発揮できる専門家を養成するプログラムです。香川大学と徳島大学が連携し運営する四国防災共同教育センターが主体となり、香川県及び徳島県とも連携して、実践力を備えた専門家の養成を目指しています。

(2) 特徴

香川大学と徳島大学の大学院科目として登録された7科目（12単位）を2年間で履修するプログラムです。授業は1年次に年3日間の実習を行います。基本的にオンラインで実施されるため、大学に通学することなく、職場や自宅からの受講が可能です。

本プログラムの修了によって各大学の研究科・専攻科の修了となるものではありませんが、実務家教員や専門家から各コース内容に沿った専門知識を学ぶことができ、修了要件を満たすと香川大学学長と徳島大学学長連名の修了証書が授与されるとともに「災害・危機対応マネージャー[®]」の民間資格が授与されます。

(3) 開設コース

開設しているコースは、次の2つです。

授業内容は両大学共通ですが、2年次後期に履修する「実務演習科目」については、香川大学のコースのみ医療文野に関するテーマでの演習が選択可能です。

① 行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コース（香川大学）

地域社会を構成する自治体・企業・医療機関等の地域組織のリスクマネジメント、組織及び地域のBCP・MCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの養成を目指します。

② 行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース（徳島大学）

地域社会を構成する自治体・企業・地域組織のリスクマネジメント、組織及び地域のBCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの養成を目指します。

2. 開設授業科目

「四国防災・危機管理プログラム」は、通常の大学における専攻とは異なり、各大学の研究科・専攻科を横断して開講されるプログラムです。

各大学の開設科目は以下の通りです。四国防災・危機管理プログラムは2年間で7科目（12単位）を履修することを基本としています。

(1) 授業科目

四国防災・危機管理プログラムコース及び授業科目一覧

大学	コース	区 分	科目名称	単位数	開講 年次	開講 学期	曜日	ページ
香川大学	危機管理マネージャー養成コース 行政・企業・医療防災・	共同実施基礎科目	リスクコミュニケーション	2	1	前期	月 18:00～	6
			危機管理学	2	1	前期	火 18:00～	7
			災害と健康管理・メンタルヘルスケア	2	1	後期	火 18:00～	8
			防災・危機管理実習	1	1	通年	集中	9
		行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群	行政・企業・医療のリスクマネジメント	2	1	後期	水 18:00～	10
			事業継続計画（BCP・MCP）の策定と実践	2	2	前期	月 16:20～	11
		実務演習科目 （1科目選択）	（行政・企業分野）行政・企業防災・危機管理実務演習	1	2	後期	指導教員 と相談	14
			（医療分野）救命救急・災害医療実務演習	1	2	後期	指導教員 と相談	15
徳島大学	危機管理マネージャー養成コース 行政・企業防災・	共同実施基礎科目	リスクコミュニケーション	2	1	前期	月 18:00～	6
			危機管理学	2	1	前期	火 18:00～	7
			メンタルヘルスケア	2	1	後期	火 18:00～	8
			防災・危機管理実習	1	1	通年	集中	9
		行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群	行政・企業のリスクマネジメント	2	1	後期	水 18:00～	12
			事業継続計画（BCP）の策定と実践	2	2	前期	月 16:20～	13
		実務演習科目	行政・企業防災・危機管理実務演習	1	2	後期	指導教員 と相談	14

※シラバスに記載した授業計画等は変更になる場合があります。

(2) 時間割

2026年度 四国防災・危機管理プログラム 授業時間割

1 年次 (2026年度入学生)

開講学期	開講時間	月	火	水	木	金
		科目名	科目名	科目名	科目名	科目名
前期 (4月～8月) 16回	18:00 ～ 19:30	香川大学・徳島大学 リスクコミュニケーション [P6]	香川大学・徳島大学 危機管理学 [P7]			
後期 (10月～2月) 16回	18:00 ～ 19:30		香川大学 災害と健康管理・メンタル ヘルスケア [P8] 徳島大学 メンタルヘルスケア [P8]	香川大学 行政・企業・医療のリスク マネジメント [P10] 徳島大学 行政・企業のリスクマネジ メント [P12]		

通年 集中講義	香川大学・徳島大学 防災・危機管理実習 [P9]	2日間 (5月香川大学・11月徳島大学)
---------	-----------------------------	----------------------

2 年次 (2025年度入学生)

開講学期	開講時間	月	火	水	木	金
		科目名	科目名	科目名	科目名	科目名
前期 (4月～8月) 16回	16:20 ～ 17:50	香川大学 事業継続計画 (BCP・MCP) の策定と実践 [P11] 徳島大学 事業継続計画 (BCP) の策 定と実践 [P13]				

後期 (10月～2月)	指導教員と 相談	香川大学 行政・企業防災・危機管理実務演習 [P14] 又は救急救命・災害医療実務演習 [P15]
		徳島大学 行政・企業防災・危機管理実務演習 [P14]

※各講義の詳細は [] 内に記されたページを参照のこと。

※各コースで受講が必要な講義は2ページを参照のこと。

(3) 履修形態

本プログラムの授業は基本的にオンラインで実施するため、大学に通学することなく、職場や自宅から受講することが可能です。

ただし、以下については、開講大学院での受講となります。

科 目 名	学年	実施日	実施大学	実施
香川大学・徳島大学 防災・危機管理実習	1 年次	5月 (土曜日) 11月 (土曜日)	香川大学 徳島大学	1 日 1 日
香川大学 「災害と健康管理・メンタルヘルスケア」の集中講義 徳島大学 「メンタルヘルスケア」の集中講義	1 年次	12月 (土曜日)	香川大学	1 日

3. 修了要件

(1) 修了要件

四国防災・危機管理プログラムの各コースを修了するためには、所定の単位を修得し、四国防災共同教育センターから修了認定を受ける必要があります。

各コースの修了要件は次のとおりです。

○行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コース修了要件（香川大学）

共同実施基礎科目	行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群	実務演習科目	合 計
7単位	4単位	1単位	12単位

○行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース修了要件（徳島大学）

共同実施基礎科目	行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群	実務演習科目	合 計
7単位	4単位	1単位	12単位

(2) 単位認定及び学業成績

授業科目の修了の認定は、その授業科目についての出席状況が十分であると認めた学生について、レポート等を評価することにより行うものとし、それに合格した学生には、各大学大学院の基準により所定の単位を認定します。

(3) 修了認定

修了認定は、学生が四国防災・危機管理プログラムに係る単位を履修により修得し、四国防災共同教育センターにおいて各コースの修了要件を満たしたと見なされた場合に修了を認定されます。

また、修了者には「災害・危機対応マネージャー[®]」の資格が与えられます。

【災害・危機対応マネージャー[®]資格取得者数】
平成26年度（第1期）～令和6年度（第11期）修了人数

分 野	内 訳（所属機関）		小 計	合 計
行政・企業	社会人	行政	66名	277名
		企業など	61名	
	学生		113名	
医療	社会人		23名	
	学生		2名	
学校	社会人		11名	
	学生		1名	

4. 給付金制度について

四国防災・危機管理プログラムの「行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コース」(香川大学)、「行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース」(徳島大学)は、厚生労働省の「専門実践教育訓練給付制度」の指定講座です。

一定の申請要件を満たす受講生は、入学金と受講料の最大80%の費用が支給される制度です。「教育訓練給付制度」の詳細は、厚生労働省のホームページや居住地のハローワークでご確認ください。なお、本制度の利用をご希望される場合は、お早めに下記問い合わせ先までご相談ください。

5. 連携大学の所在地と問合せ先

【香川大学】

四国防災共同教育センター 事務局

〒761-0396 香川県高松市林町2217番地20

創造工学部 演習研究棟3F事務局

TEL (087) 864-2539

【徳島大学】

徳島大学環境防災研究センター

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地

TEL (088) 656-8965

【ホームページ】

四国防災共同教育センター

<http://www.kagawa-u.ac.jp/dpec/>



四国防災・危機管理プログラム シラバス

【香川大学・徳島大学】共同実施基礎科目

科 目 名	リスクコミュニケーション（2単位）		
担 当 教 員	湯浅恭史、金井純子（徳島大学）、 竹之内健介、野本粹浩（香川大学）他	開講曜日等	1 年次 前期 月 18：00～19：30
授業概要及び授業計画			
■授業の目的			
リスクは不確実性をもっていることを踏まえ、リスクの捉え方と不確実性の評価、リスク情報とリスクに対する人びとの認知について学ぶ。それらを踏まえ、リスク対策のコンセンサスを形成する上でのリスクコミュニケーションの位置づけと多様な問題に言及し、課題事例等から考え方の理解を深める。			
■授業の概要			
本講義では、リスクは不確実性をもっていることを踏まえ、リスクの捉え方と不確実性の評価、リスク情報とリスクに対する人びとの認知について学ぶ。それらを踏まえ、リスク対策の中でのリスクコミュニケーションの位置づけと多様な問題に言及し、課題事例等から考え方の理解を深める。			
授業は、第1～12回は実務家教員や実務家を講師としてリスクコミュニケーションの技法と事例やコンセンサスにかかる授業を、第13～15回は少人数によるグループディスカッションによって設計演習を実施し、第16回では設計演習発表を実施する。			
■キーワード			
リスク、リスクコミュニケーション、コンセンサス。			
■到達目標			
1. リスクコミュニケーションとは何かについて理解する。			
2. リスクコミュニケーションの手法について理解する。			
3. リスクコミュニケーションの実践事例を学ぶ。			
■授業計画			
1	リスクコミュニケーションとは何か	井面 仁志（香川大学）	
2	リスクコミュニケーションの技法① 聞く	平石加奈子（フリーアナウンサー）	
3	リスクコミュニケーションの技法② 話す	平石加奈子（フリーアナウンサー）	
4	リスクコミュニケーションの技法③ 伝える・書く	近藤 誠司（関西大学）	
5	リスクコミュニケーションの事例① 行政	野本 粹浩（香川大学）	
6	リスクコミュニケーションの事例② 企業	湯浅 恭史（徳島大学）	
7	リスクコミュニケーションの事例③ 医療機関	佐々木睦子（香川大学）	
8	リスクコミュニケーションの事例④ 教育機関	中野 晋（徳島大学）	
9	コンセンサス① 合意形成手法（行政での事例）	野本 粹浩（香川大学）	
10	コンセンサス② ワークショップ	竹之内健介（香川大学）	
11	クライシス① 危機広報の基本	湯浅 恭史（徳島大学）	
12	クライシス② ワークショップ	金井 純子（徳島大学）	
13	リスクコミュニケーションの設計演習①	金井 純子・湯浅 恭史（徳島大学）	
14	リスクコミュニケーションの設計演習②	金井 純子・湯浅 恭史（徳島大学）	
15	リスクコミュニケーションの設計演習③	金井 純子・湯浅 恭史（徳島大学）	
16	設計演習発表会	金井 純子・湯浅 恭史（徳島大学）	

【香川大学・徳島大学】共同実施基礎科目

科 目 名	危機管理学（2単位）		
担 当 教 員	白木渡（香川大学）、上月康則（徳島大学）、 野々村敦子、野本粹浩（香川大学）他	開講曜日等	1 年次 前期 火 18：00～19：30
授業概要及び授業計画			
■授業の目的			
危機管理（クライシスマネジメント）とは、危機を予防・回避し、災害に至った場合に損害を少なくするための措置をいい、これを実現するための学問を危機管理学という。ここでは危機管理のための基本的知識や手法を習得することを目的とする。			
■授業の概要			
本講義では、自然災害や人為的な事故等により国家、社会、組織、個人が致命的な状況に至ることを回避・予防し、万が一被災した場合にも被害を最小限に止めるために必要な計画、行動基準等の策定方法や被災事例を事前対策に反映する手法について学ぶ。授業は、第1～6回は危機管理の枠組みや多様な危機への対応の基本を、第7～15回は危機に対する事例を実務教員や実務家を講師として学び、第16回では個人の研究発表を実施する。			
■キーワード			
危機管理、クライシスマネジメント、危機の回避・予防、減災			
■到達目標			
1. 危機管理の基礎知識を習得する。			
2. 危機管理の手法について理解する。			
3. 危機管理の実践事例を学ぶ。			
■授業計画			
1	オリエンテーション／危機管理の枠組み	白木	渡（香川大学名誉教授）
2	多様な脅威と連鎖・連動脅威への対応	白木	渡（香川大学名誉教授）
3	大地の成り立ちから考える危機管理	野々村	敦子（香川大学）
4	危機管理と法体系	野本	粹浩（香川大学）
5	災害時のボランティア活動	高橋	真里（香川大学）
6	災害後に起こる心身の変化と対応	内海	千種（徳島大学）
7	危機管理（1）－ 自然災害と危機管理 －	上月	康則（徳島大学）
8	危機管理（2）－ 環境災害と危機管理 －	上月	康則（徳島大学）
9	危機管理（3）－ 災害医療と危機管理 －	萩池	昌信（大浜第一病院）
10	危機管理（4）－ 産業災害と危機管理 －	梶谷	義雄（香川大学）
11	危機管理（5）－ エネルギー供給と危機管理 －	梶谷	義雄（香川大学）
12	危機管理（6）－ サイバー攻撃に対する危機管理 －	上田	哲史（徳島大学）
13	危機管理（7）－ 施設・整備の劣化老朽化に関する危機管理 －	山本	浩司（愛媛大学）
14	危機管理（8）－ 戦争・紛争・テロに対する危機管理 －	福田	充（日本大学）
15	危機管理（9）－ 自衛隊の危機管理 －	自衛隊	
16	課題発表	白木	渡（香川大学名誉教授）
		野本	粹浩（香川大学）
		上月	康則（徳島大学）

【香川大学・徳島大学】共同実施基礎科目

科 目 名	香川大学 災害と健康管理・メンタルヘルスケア（2単位） 徳島大学 メンタルヘルスケア（2単位）																																																															
担 当 教 員	黒田泰弘、平尾智広、（香川大学）、 金井純子（徳島大学）他	開講曜日等	1 年次 後期 火 18：00～19：30																																																													
授業概要及び授業計画																																																																
<div>■授業の目的</div> <p>授業では講義、演習、実習を通じて以下の事項を修得します。</p> <ul style="list-style-type: none">・災害時における健康管理について要点を理解し、説明できるようになる。・災害時に発生する保健・医療・福祉の課題、それに対応するための基本知識について理解し、説明できるようになる。・災害時に発生するメンタルヘルスの課題、それに対応するための基本知識について理解し、説明できるようになる。 <div>■授業の概要</div> <p>災害対応を志す者にとって、災害時の健康管理、メンタルヘルス対策、保健・医療・福祉の状況を知ることは大変重要です。授業では、以下の事項について講義、演習、実習を行いながら解説します。</p> <ul style="list-style-type: none">・災害時における健康管理の要点・災害時に発生する保健・医療・福祉の課題、それに対応するための基本知識・災害時に発生するメンタルヘルスの課題、それに対応するための基本知識 <div>■キーワード</div> <p>災害医療、健康管理、衛生管理、避難所、メンタルヘルスケア</p> <div>■到達目標</div> <ol style="list-style-type: none">1）災害時における保健・医療・福祉の事象について説明できる。2）災害時における保健・医療・福祉の対応について説明できる。3）災害時における高齢者、要配慮者について説明できる。4）災害時における衛生、環境について説明できる。5）災害時におけるメンタルヘルスについて説明できる。6）災害時における保健・医療・福祉、メンタルヘルスの現状を理解し、解決のために必要な行動、具体策について述べることができる。 <div>■授業計画（医療の緊急事態により、講義の予定や内容は変更される場合があります）</div> <table><tr><td>1</td><td>災害医療総論</td><td>黒田 泰弘（香川大学名誉教授）</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>災害時の健康管理（1）</td><td>平尾 智広（香川大学名誉教授）</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>災害時の健康管理（2）</td><td>平尾 智広（香川大学名誉教授）</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>災害時の健康管理（3）</td><td>平尾 智広（香川大学名誉教授）</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>災害時の健康管理（4）</td><td>平尾 智広（香川大学名誉教授）</td><td></td></tr><tr><td>6</td><td>課題（1）</td><td>平尾 智広（香川大学名誉教授）</td><td></td></tr><tr><td>7</td><td>災害医療の実際</td><td>近藤 久禎（国立健康危機管理研究機構DMAT事務局）</td><td></td></tr><tr><td>8</td><td>特殊災害</td><td>西山 隆（沖縄県立中部病院）</td><td></td></tr><tr><td>9</td><td>災害弱者</td><td>川内 敦文（高知県健康政策部）</td><td></td></tr><tr><td>10</td><td>災害と高齢者</td><td>小早川義隆（国立病院機構）</td><td></td></tr><tr><td>11</td><td>避難所の衛生・健康管理</td><td>中瀬 克己（吉備国際大学）</td><td></td></tr><tr><td>12</td><td>メンタルヘルスケア PFA研修</td><td>平尾 智広（香川大学名誉教授）</td><td rowspan="4">他 } 集中講義</td></tr><tr><td>13</td><td>メンタルヘルスアップ 実技講座</td><td>平尾 智広（香川大学名誉教授）</td></tr><tr><td>14</td><td>メンタルヘルスアップ 実技講座</td><td>平尾 智広（香川大学名誉教授）</td></tr><tr><td>15</td><td>課題（2）</td><td>平尾 智広（香川大学名誉教授）</td></tr><tr><td>16</td><td>総合討論</td><td></td><td></td></tr></table>				1	災害医療総論	黒田 泰弘（香川大学名誉教授）		2	災害時の健康管理（1）	平尾 智広（香川大学名誉教授）		3	災害時の健康管理（2）	平尾 智広（香川大学名誉教授）		4	災害時の健康管理（3）	平尾 智広（香川大学名誉教授）		5	災害時の健康管理（4）	平尾 智広（香川大学名誉教授）		6	課題（1）	平尾 智広（香川大学名誉教授）		7	災害医療の実際	近藤 久禎（国立健康危機管理研究機構DMAT事務局）		8	特殊災害	西山 隆（沖縄県立中部病院）		9	災害弱者	川内 敦文（高知県健康政策部）		10	災害と高齢者	小早川義隆（国立病院機構）		11	避難所の衛生・健康管理	中瀬 克己（吉備国際大学）		12	メンタルヘルスケア PFA研修	平尾 智広（香川大学名誉教授）	他 } 集中講義	13	メンタルヘルスアップ 実技講座	平尾 智広（香川大学名誉教授）	14	メンタルヘルスアップ 実技講座	平尾 智広（香川大学名誉教授）	15	課題（2）	平尾 智広（香川大学名誉教授）	16	総合討論		
1	災害医療総論	黒田 泰弘（香川大学名誉教授）																																																														
2	災害時の健康管理（1）	平尾 智広（香川大学名誉教授）																																																														
3	災害時の健康管理（2）	平尾 智広（香川大学名誉教授）																																																														
4	災害時の健康管理（3）	平尾 智広（香川大学名誉教授）																																																														
5	災害時の健康管理（4）	平尾 智広（香川大学名誉教授）																																																														
6	課題（1）	平尾 智広（香川大学名誉教授）																																																														
7	災害医療の実際	近藤 久禎（国立健康危機管理研究機構DMAT事務局）																																																														
8	特殊災害	西山 隆（沖縄県立中部病院）																																																														
9	災害弱者	川内 敦文（高知県健康政策部）																																																														
10	災害と高齢者	小早川義隆（国立病院機構）																																																														
11	避難所の衛生・健康管理	中瀬 克己（吉備国際大学）																																																														
12	メンタルヘルスケア PFA研修	平尾 智広（香川大学名誉教授）	他 } 集中講義																																																													
13	メンタルヘルスアップ 実技講座	平尾 智広（香川大学名誉教授）																																																														
14	メンタルヘルスアップ 実技講座	平尾 智広（香川大学名誉教授）																																																														
15	課題（2）	平尾 智広（香川大学名誉教授）																																																														
16	総合討論																																																															

【香川大学・徳島大学】共同実施基礎科目

科 目 名	防災・危機管理実習（1単位）		
担 当 教 員	井面仁志、野本粹浩（香川大学）、 湯浅恭史、蒋景彩（徳島大学）他	開講曜日等	1年次 通年
授業概要及び授業計画			
<p>■授業の目的</p> <p>災害時に必要となる地図を使った対応訓練や、避難所運営訓練、事業継続訓練などを実践的な実習として経験し、防災・危機管理能力を得ることを目的とする。</p> <p>■授業の概要</p> <p>防災・危機管理に関する机上訓練・対応訓練を前期1日（5月土曜日）後期1日（11月土曜日）の2日間集中講義によって実施する。</p> <p>■キーワード</p> <p>危機管理、机上訓練、現場訓練、DIG、HUG</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 机上訓練を通して、防災・危機管理の実務能力を得る。 2. 集団現場訓練を通して、防災・危機管理の実務能力を得る。 <p>■授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 総合机上訓練① 2 総合机上訓練② 3 総合机上訓練③ 4 総合机上訓練④ 5 総合机上訓練⑤ 6 即時対応訓練① 7 即時対応訓練② 8 即時対応訓練③ 9 即時対応訓練④ 10 即時対応訓練⑤ 11 応急対応訓練① 12 応急対応訓練② 13 応急対応訓練③ 14 応急対応訓練④ 15 応急対応訓練⑤ 16 振り返り総合討論 			

【香川大学】行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群

科 目 名	行政・企業・医療のリスクマネジメント（2単位）		
担 当 教 員	湯浅恭史（徳島大学）、 梶谷義雄、野本粹浩、平尾智広（香川大学）他	開講曜日等	1 年次 後期 水 18：00～19：30
授業概要及び授業計画			
<p>■授業の目的</p> <p>行政、企業、医療をとりまく種々のリスクについて基礎的知識を習得した上で、主として自然災害リスクに対するマネジメントの方法について理解する。</p> <p>■授業の概要</p> <p>自治体や企業、医療機関の活動を行う上で、認識すべきリスクについて概説した後、わが国で多発している大規模災害への備えや応急・復旧対応の方法について事例を交えて説明する。</p> <p>■キーワード</p> <p>自治体、企業、医療機関、リスクマネジメント、BCP、MCP</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行政や企業、医療機関が活動を行う上で認識すべきリスクについて理解する。 2. 行政や企業、医療機関が災害前に実施すべき防災・減災の方法や災害対応に関する理論や技術を修得する。 <p>■授業計画</p>			
1	ガイダンス／リスクマネジメントの必要性	湯浅 恭史（徳島大学） 野本 粹浩（香川大学）	
2	自然災害に対するリスクマネジメント①水災害	野本 粹浩（香川大学）	
3	自然災害に対するリスクマネジメント②地震	野本 粹浩（香川大学）	
4	感染症に対するリスクマネジメント	平尾 智広（香川大学名誉教授）	
5	行政機関のリスクマネジメントとその枠組み	中野 晋（徳島大学）	
6	行政のリスクマネジメント 実践	非常勤講師（香川県・徳島県）	
7	行政機関のリスクマネジメント 応急・復旧対応の内容と方法	梶谷 義雄（香川大学）	
8	医療機関のリスクマネジメントとその枠組み	平尾 智広（香川大学名誉教授）	
9	医療機関のリスクマネジメント 災害医療における現場対応と情報共有戦略	黒田 泰弘（香川大学名誉教授）	
10	企業のリスクマネジメントとその枠組み	湯浅 恭史（徳島大学）	
11	企業のリスクマネジメント 経営におけるリスクとその対応	湯浅 恭史（徳島大学）	
12	企業のリスクマネジメント 事例からみるリスクマネジメントと危機管理	湯浅 恭史（徳島大学）	
13	総合討論 1	湯浅 恭史（徳島大学） 野本 粹浩（香川大学）	
14	復興プロセスの枠組みと復興支援施策	梶谷 義雄（香川大学）	
15	防災まちづくり（事前復興）	多田 豊（愛媛大学）	
16	総合討論 2	湯浅 恭史（徳島大学） 野本 粹浩（香川大学） 梶谷 義雄（香川大学）	

【香川大学】行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群

科 目 名	事業継続計画（BCP・MCP）の策定と実践（2単位）		
担 当 教 員	湯浅恭史（徳島大学）、 磯打千雅子、野本粹浩（香川大学）他	開講曜日等	2年次 前期 月 16：20～17：50
授業概要及び授業計画			
■授業の目的 企業（医療機関を含む）及び自治体の事業継続計画の必要性・重要性を認識し、その策定方法を理解し、自らBCPの策定ができる能力を修得する。			
■授業の概要 事業継続計画（BCP・MCP）に関する基本的な考え方を説明するとともに、企業（医療機関を含む）及び自治体の業務継続計画の必要性・重要性を認識し、その策定方法について理解を深める。授業は第1～10回は事業継続計画の必要性・重要性及び策定方法を理解するための授業を、第11～15回は少人数によるグループディスカッションによって具体的な事業継続計画策定の演習を行い、第16回では演習成果の発表を行う。			
■キーワード 自治体防災、企業防災、災害医療、BCP、MCP			
■到達目標 1. 事業継続計画の必要性、重要性を理解し、その要点を適切に説明できる。 2. 企業（医療機関を含む）の事業継続計画の策定方法が理解できる。 3. 自治体の業務継続計画の策定方法が理解できる。			
■授業計画			
1	ガイダンス/企業におけるBCPの現状と課題	湯浅 恭史（徳島大学）・磯打千雅子（香川大学）	
2	被害想定と前提条件の整理	磯打千雅子（香川大学）	
3	外部環境と内部環境の理解	磯打千雅子（香川大学）	
4	ビジネスインパクト分析	湯浅 恭史（徳島大学）	
5	事業継続戦略・対策の検討と決定	湯浅 恭史（徳島大学）	
6	教育・訓練	磯打千雅子（香川大学）	
7	事前対策と見直し・改善	湯浅 恭史（徳島大学）	
8	修了生によるBCP事例紹介		
9	医療機関の事業継続（MCP）	萩池 昌信（大浜第一病院）	
10	地方自治体における事業継続	中野 晋（徳島大学）	
11	演習の進め方/演習①	湯浅 恭史（徳島大学）・磯打千雅子（香川大学）	
12	演習②	中野 晋・湯浅 恭史（徳島大学） 磯打千雅子・野本 粹浩（香川大学）	
13	演習③	中野 晋・湯浅 恭史（徳島大学） 磯打千雅子・野本 粹浩（香川大学）	
14	演習④	中野 晋・湯浅 恭史（徳島大学） 磯打千雅子・野本 粹浩（香川大学）	
15	演習⑤	中野 晋・湯浅 恭史（徳島大学） 磯打千雅子・野本 粹浩（香川大学）	
16	発表①	中野 晋・湯浅 恭史（徳島大学） 磯打千雅子・野本 粹浩（香川大学）	

【徳島大学】行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群

科 目 名	行政・企業のリスクマネジメント（2単位）		
担 当 教 員	湯浅恭史（徳島大学）、 梶谷義雄、野本粹浩、平尾智広（香川大学）他	開講曜日等	1 年次 後期 水 18：00～19：30
授業概要及び授業計画			
<p>■授業の目的</p> <p>行政、企業、医療をとりまく種々のリスクについて基礎的知識を習得した上で、主として自然災害リスクに対するマネジメントの方法について理解する。</p> <p>■授業の概要</p> <p>自治体や企業、医療機関の活動を行う上で、認識すべきリスクについて概説した後、わが国で多発している大規模災害への備えや応急・復旧対応の方法について事例を交えて説明する。</p> <p>■キーワード</p> <p>自治体、企業、医療機関、リスクマネジメント、BCP、MCP</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行政や企業、医療機関が活動を行う上で認識すべきリスクについて理解する。 2. 行政や企業、医療機関が災害前に実施すべき防災・減災の方法や災害対応に関する理論や技術を修得する。 <p>■授業計画</p>			
1 ガイダンス／リスクマネジメントの必要性	湯浅 恭史（徳島大学） 野本 粹浩（香川大学）		
2 自然災害に対するリスクマネジメント①水災害	野本 粹浩（香川大学）		
3 自然災害に対するリスクマネジメント②地震	野本 粹浩（香川大学）		
4 感染症に対するリスクマネジメント	平尾 智広（香川大学名誉教授）		
5 行政機関のリスクマネジメントとその枠組み	中野 晋（徳島大学）		
6 行政のリスクマネジメント 実践	非常勤講師（香川県・徳島県）		
7 行政機関のリスクマネジメント 応急・復旧対応の内容と方法	梶谷 義雄（香川大学）		
8 医療機関のリスクマネジメントとその枠組み	平尾 智広（香川大学名誉教授）		
9 医療機関のリスクマネジメント 災害医療における現場対応と情報共有戦略	黒田 泰弘（香川大学名誉教授）		
10 企業のリスクマネジメントとその枠組み	湯浅 恭史（徳島大学）		
11 企業のリスクマネジメント 経営におけるリスクとその対応	湯浅 恭史（徳島大学）		
12 企業のリスクマネジメント 事例からみるリスクマネジメントと危機管理	湯浅 恭史（徳島大学）		
13 総合討論 1	湯浅 恭史（徳島大学） 野本 粹浩（香川大学）		
14 復興プロセスの枠組みと復興支援施策	梶谷 義雄（香川大学）		
15 防災まちづくり（事前復興）	多田 豊（愛媛大学）		
16 総合討論 2	湯浅 恭史（徳島大学） 野本 粹浩（香川大学） 梶谷 義雄（香川大学）		

【徳島大学】行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群

科 目 名	事業継続計画（BCP）の策定と実践（2単位）		
担 当 教 員	湯浅恭史（徳島大学）、 磯打千雅子、野本粹浩（香川大学）他	開講曜日等	2年次 前期 月 16：20～17：50
授業概要及び授業計画			
■授業の目的 企業（医療機関を含む）及び自治体の事業継続計画の必要性、重要性を認識し、その策定方法を理解し、自らBCPの策定ができる能力を取得する。			
■授業の概要 事業継続計画（BCP・MCP）に関する基本的な考え方を説明するとともに、企業（医療機関を含む）及び自治体の業務継続計画の必要性・重要性を認識し、その策定方法について理解を深める。授業は第1～10回は事業継続計画の必要性・重要性及び策定方法を理解するための授業を、第11から15回は少人数によるグループディスカッションによって具体的な事業継続計画策定の演習を行い、第16回では演習成果の発表を行う。			
■キーワード 自治体防災、企業防災、災害医療、BCP、MCP			
■到達目標 1. 事業継続計画の必要性、重要性を理解し、その要点を適切に説明できる。 2. 企業（医療機関を含む）の事業継続計画の策定方法が理解できる。 3. 自治体の業務継続計画の策定方法が理解できる。			
■授業計画			
1	ガイダンス/企業におけるBCPの現状と課題	湯浅 恭史（徳島大学）・磯打千雅子（香川大学）	
2	被害想定と前提条件の整理	磯打千雅子（香川大学）	
3	外部環境と内部環境の理解	磯打千雅子（香川大学）	
4	ビジネスインパクト分析	湯浅 恭史（徳島大学）	
5	事業継続戦略・対策の検討と決定	湯浅 恭史（徳島大学）	
6	教育・訓練	磯打千雅子（香川大学）	
7	事前対策と見直し・改善	湯浅 恭史（徳島大学）	
8	修了生によるBCP事例紹介		
9	医療機関の事業継続（MCP）	萩池 昌信（大浜第一病院）	
10	地方自治体における事業継続	中野 晋（徳島大学）	
11	演習の進め方/演習①	湯浅 恭史（徳島大学）・磯打千雅子（香川大学）	
12	演習②	中野 晋・湯浅 恭史（徳島大学） 磯打千雅子・野本 粹浩（香川大学）	
13	演習③	中野 晋・湯浅 恭史（徳島大学） 磯打千雅子・野本 粹浩（香川大学）	
14	演習④	中野 晋・湯浅 恭史（徳島大学） 磯打千雅子・野本 粹浩（香川大学）	
15	演習⑤	中野 晋・湯浅 恭史（徳島大学） 磯打千雅子・野本 粹浩（香川大学）	
16	発表①	中野 晋・湯浅 恭史（徳島大学） 磯打千雅子・野本 粹浩（香川大学）	

【香川大学・徳島大学】実務演習科目

科 目 名	行政・企業防災・危機管理実務演習（1単位）		
担 当 教 員	野本粹浩（香川大学）、 湯浅恭史（徳島大学）他	開講曜日等	2年次 後期 指導教員と相談
授業概要及び授業計画			
<p>■授業の目的</p> <p>激甚化・頻発化する災害・危機に対応でき、職場や地域における防災・危機管理のリーダーとなるとともに、職場や地域の防災力向上に寄与する事の出来る人材育成を目的とする。</p> <p>■授業の概要</p> <p>防災・危機管理に関する実務演習のテーマを決めて担当教員の指導の下で実施し、実務能力を修得する。</p> <p>■キーワード</p> <p>行政、企業防災、実務演習</p> <p>■到達目標</p> <p>防災・危機管理に関してテーマを持った実務演習を行い、実務能力を修得する。</p> <p>■授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 実務演習目的の決定 3 基礎調査① 4 基礎調査② 5 基礎調査③ 6 実務演習内容の概要計画 7 実務演習内容の詳細計画 8 中間発表 9 実務演習① 10 実務演習② 11 実務演習③ 12 実務演習④ 13 実務演習⑤ 14 実務演習⑥ 15 実務演習⑦ 16 成果発表会 			

【香川大学】実務演習科目

科 目 名	救急救命・災害医療実務演習（1単位）		
担 当 教 員	平尾智広（香川大学）他	開講曜日等	2年次 後期 指導教員と相談
授業概要及び授業計画			
<p>■授業の目的</p> <p>災害・危機対応マネージャー（医療分野）として、職場や地域で実践できる行動力を養う。</p> <p>■授業の概要</p> <p>自ら職場・地域の問題点を抽出し改善していくための手段や手順を学習する。</p> <p>全ての授業は、実務家教員が講師に加わり、少人数によるグループディスカッションや実地での体験活動により実施する。</p> <p>■キーワード</p> <p>問題解決能力、地域医療貢献、行動力・実践力</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題点の抽出ができる。 2. 問題点の解決を通して地域医療に貢献できる。 <p>■授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 実務演習目的の決定 3 基礎調査① 4 基礎調査② 5 基礎調査③ 6 実務演習内容の概要計画 7 実務演習内容の詳細計画 8 中間発表 9 実務演習① 10 実務演習② 11 実務演習③ 12 実務演習④ 13 実務演習⑤ 14 実務演習⑥ 15 実務演習⑦ 16 成果発表会 			

四国防災・危機管理プログラム

2026年度 履修の手引き

発行日 2025年12月

発行者 四国防災共同教育センター

〒761-0396 香川県高松市林町2217-20 香川大学創造工学部内
TEL 087-864-2539 FAX 087-864-2554

SHIKOKU Disaster Prevention and
Crisis Management Education Program

